

「魚類養殖の収益性向上を目指して」

三重県では熊野灘のリアス式海岸を活かした魚類養殖が盛んに行なわれ、過去にはブリ、マダイの生産量日本一を記録しています。本県の魚類養殖業は小規模経営体が多く、近年は養殖魚の8割を占めるマダイの魚価下落や、餌料費高騰により、経営は厳しさを増しています。そこで、魚類養殖の収益性向上に向けたフォーラムを開催します。ふるってご参加ください。



日時：平成27年11月24日（火） 14時～17時
場所：錦みなとホール（〒519-2911三重県度会郡大紀町錦795-8）

プログラム

1. 開会・・・・・・・・・・・・・・・・・・14時00分（受付13時30分～）
2. 講演・・・・・・・・・・・・・・・・・・14時10分～16時30分
 - 1) 「水産物市場の構造変化と養殖経営の今後の課題－経済学的視点から－」
松井隆宏 准教授（三重大学大学院 生物資源学研究科）
 - 2) 「複合養殖導入による経営改善効果」
青木秀夫 室長（三重県水産研究所 尾鷲水産研究室）
 - 3) 「養殖コスト低減に向けた低魚粉飼料開発の現状と今後の課題」
山本剛史 グループ長（国立研究開発法人 水産総合研究センター 増養殖研究所）
 - 4) 「米糠を用いた低魚粉飼料の開発事例」
中村砂帆子 研究員（三重県水産研究所 尾鷲水産研究室）
3. 参加者の意見交換・・・・・・・・・・16時30分～17時00分

案内図



参加費：無料、申し込み：不要
対象：どなたでも参加できます。
問い合わせ：三重県水産研究所 水野・山田
TEL 0599-53-0016 FAX 0599-53-2225
E-MAIL suigi@pref.mie.jp

拡大図



主催：三重地域産学官連携水産研究連絡会議※ 共催：三重県海水養魚協議会

※三重大学大学院生物資源学研究科、(国研)水産総合研究センター増養殖研究所、三重県農林水産部が、連携して水産産業振興を図るため平成22年に設立